

完了後の評価個表

整理番号	6
------	---

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	栃木県
地域（地区）名	わたらせがわ 渡良瀬川	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等
関係市町村	あしがが 足利市ほか3市	管理主体	県、市、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H28年度（6年間）	完了後経過年数	5年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は栃木県の南西部に位置し、北西部は日光火山群に連なり、この東方の山地帯、関東平野の一部を構成する平地へと続いている。総土地面積は169千haで県土の26%を占め、森林面積は73千ha（森林率43%）、民有林は70千haで民有人工林は44千ha（人工林率63%）となっており、人工林率は県内3流域の中で最も高くなっている。</p> <p>本地区は、4つの県立自然公園を有しており、保健休養の場として都市近郊から数多くの観光客が訪れている。また、本地区の森林は東京都をはじめとした都市圏の水源林となっており、水源涵養機能や土壌保全機能等といった公益的機能を発揮している。さらには、鹿沼市から佐野市、足利市にかけての山地は古くからスギ・ヒノキの人工林施業が盛んとなっている。</p> <p>一方で、本地区の民有林における人工林の齢級構成は、13齢級がピークとなっており、利用期を迎えた林分が多く存在しているものの、林業の採算性の低迷や、シカ・クマによる林木への食害・剥皮被害等により必要な施業に遅れが生じている。</p> <p>本事業は、水源涵養機能や土壌保全機能、地球環境保全機能等といった森林の有する多面的機能を高度に発揮していくために必要な、再生林や下刈り、搬出間伐等の森林整備を、施業の集約化や計画的な路網の整備により、効果的かつ効率的に実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 7,457ha 人工造林、下刈り、搬出間伐、森林作業道整備等</p> <p>・総事業費 4,169,220千円（税抜き 3,898,369千円） （平成22年度の評価時点 1,947,597千円）</p>
-----------------	---

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価時点の分析結果との差異については、労務単価の上昇や費用便益分析で使用する単価の変化によるもののほか、事業期間が1年延長したことにより事業量が増加したことによるものである。</p> <p>総便益（B）22,526,635千円（平成22年度の評価時点10,058,592千円※） 総費用（C）10,161,160千円（平成22年度の評価時点3,861,590千円※） 分析結果（B/C）2.22（平成22年度の評価時点2.60※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更新、保育によって7,457haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、高性能林業機械の使用等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。 ・コナラ等広葉樹植栽により、多様な森づくりが進み、生物多様性の保全に寄与する等森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・森林整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画等に基づき、森林所有者及び森林組合等によって適切に管理されており、良好な状況にある。 ・整備された森林作業道は、適切に維持管理されており、間伐等を実施する際には草刈りを行うなど、良好な状況にある。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材の安定供給、地球温暖化防止等といった多面的機能が発揮されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>地域の総生産額は35,554億円で、県全体の約38%を占めている。産業別に見ると、第1次産業が約1%、2次産業が約49%、3次産業が約50%となっている。</p> <p>産業別就業者の総数は399千人で、第1次産業18千人（約4%）、2次産業134千人（約34%）、3次産業247千人（約62%）である。</p> <p>優良な原木丸太が多く生産されることから、無垢材の生産拠点として複数の製材工場があるが、より充実した森林資源の有効活用を図るため、各工場において乾燥施設や高性能製材機械などの施設整備が進み、規模拡大が図られた。また、佐野市に大型製材工場の稼働が予定されており、素材需要の増大や多様化が求められている。</p> <p>このため、皆伐を促進するなどして、素材の安定供給を図る必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、引き続き森林整備事業を実施する必要がある。</p> <p>事業の実施にあたっては、伐採と造林の一貫施業、施業の集約化等による低コスト化・省力化を図るとともに、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林資源の循環利用を促進する必要がある。</p>

	<p>地元の意見：</p> <p>(栃木県)</p> <p>森林整備事業の実施により、土砂流出防止や水源涵養等、森林の持つ公益的機能の発揮や木材の生産に寄与している。</p> <p>(足利市)</p> <p>森林の有する水源涵養や山地保全等の公益的機能を持続的に発揮するため、計画的な施業が必要である。</p> <p>今後とも計画的かつ効率的な施業の実施に努め、森林の有する公益的機能向上の取組を推進していきたい。</p> <p>(佐野市)</p> <p>林内路網の活用が促進され、整備されることにより、これまで手入れの行き届かなかった森林へのアクセスが可能となり、コストの低減及び労力の軽減が図られ林業活動の環境が改善された。</p> <p>今後、主伐・再造林・保育といった循環を加速化させ、森林の有する多面的機能はもとより、雇用の確保に向けた取組を推進していきたい。</p> <p>(栃木市)</p> <p>森林整備事業の実施によって、収益性の悪い針葉樹林を広葉樹林に転換した他、森林病虫害の高度公益機能森林への被害拡大防止が図られ、水源涵養や山地保全、土砂流出防止、都市近郊における保健休養等の公益的機能の発揮に寄与している。</p> <p>(鹿沼市)</p> <p>森林整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られ、土砂流出防止・水源涵養等の高度発揮に寄与している。</p> <p>適切な森林施業を継続するためにも、森林所有者に対して積極的に普及啓発を実施していきたい。</p> <p>一方、林業事業者からは事業達成のため森林路網整備への支援や獣害対策の推進等を要望されている。整備を進めるためにも支援制度の拡充を検討願いたい。市としても関係機関と連携を図りながら、本事業を補完する支援策を講じ、森林整備の促進に貢献していきたい。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 地元意見にもあるとおり、本事業の実施を通して、森林の有する公益的機能の維持増進が図られ、水源涵養や山地保全、土砂流出の防止等において本地区の森林は重要な役割を果たしていることから、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 森林整備及び路網整備では、現地に応じた効果的かつ効率的な施業種等で実施しており、また、森林整備事業箇所へのアクセス向上やコスト縮減に努めるなど、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

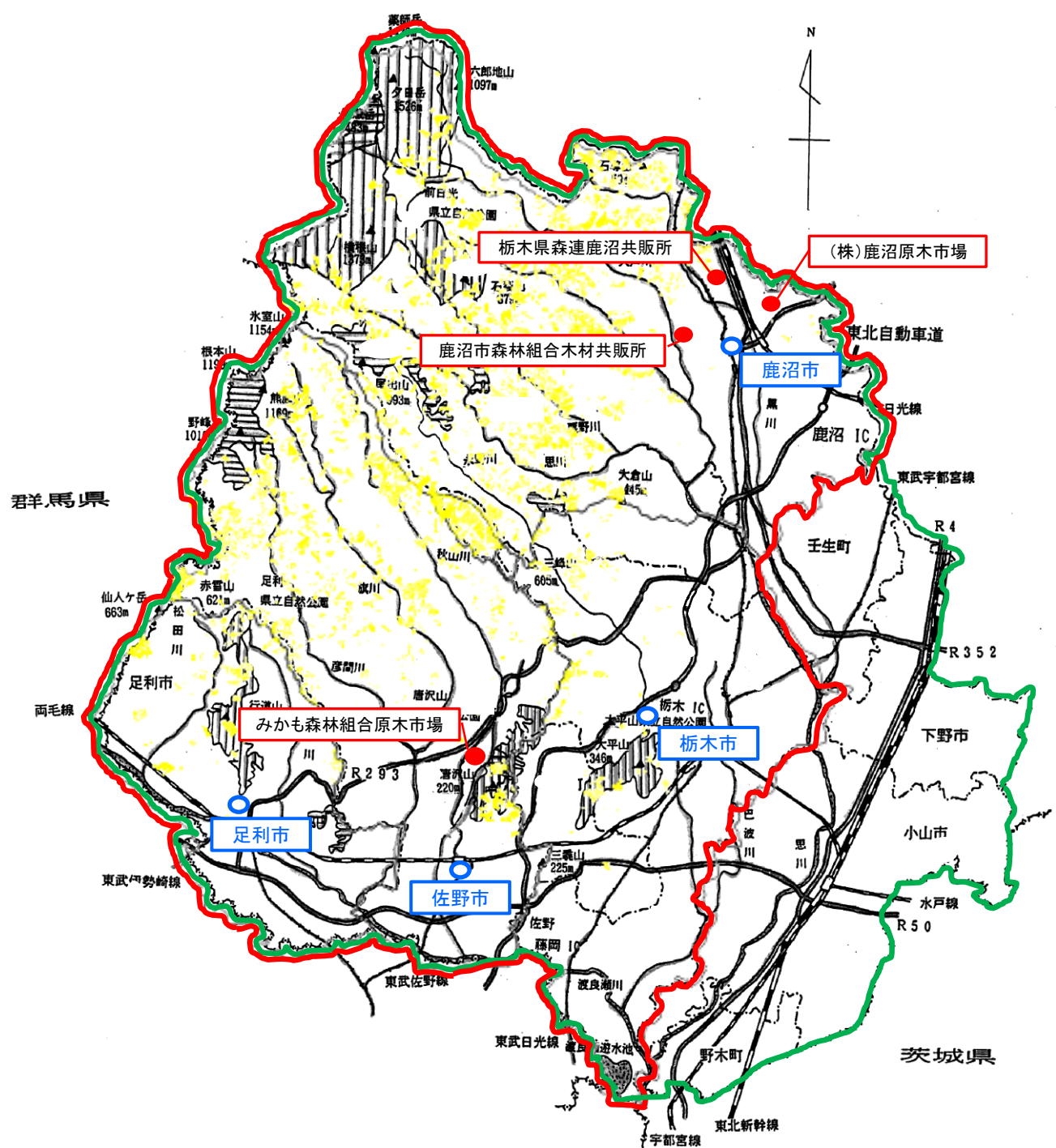
都道府県名：栃木県

地域(地区)名：わたらせがわ
渡良瀬川

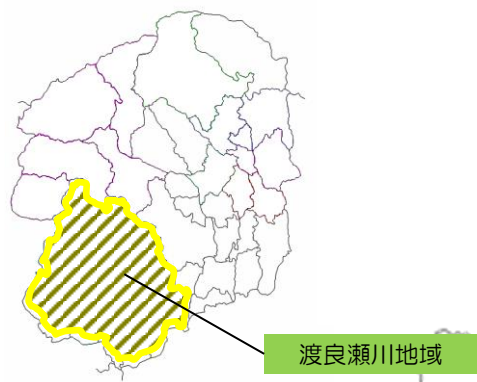
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,668,088	
	流域貯水便益	1,456,904	
	水質浄化便益	5,378,246	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,695,695	
環境保全便益	炭素固定便益	1,893,704	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,433,998	
総 便 益 (B)		22,526,635	
総 費 用 (C)		10,161,160	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,526,635}{10,161,160} = 2.22$		

森林環境保全整備事業 渡良瀬川地域(栃木県)



栃木県内での位置



凡 例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	